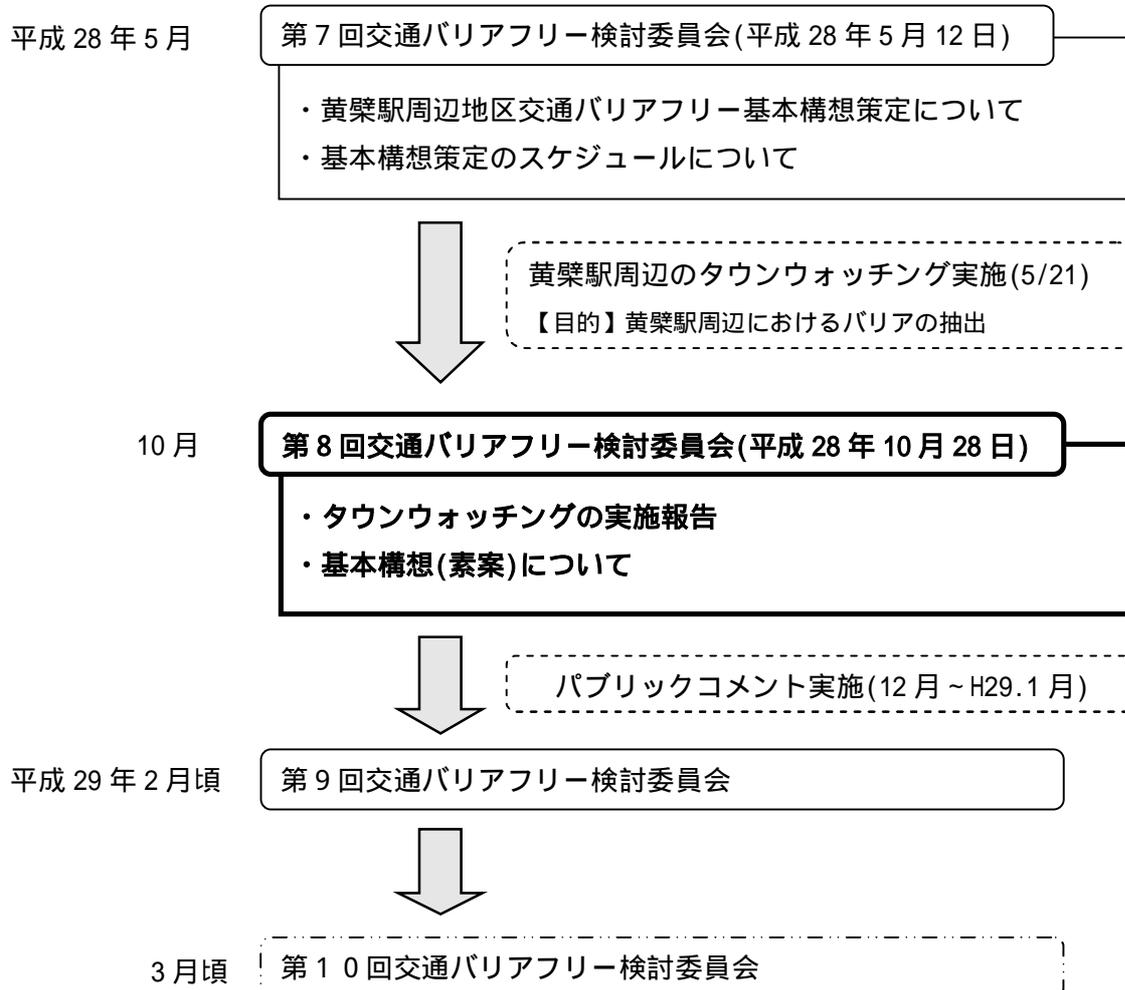


## 黄檗駅周辺のタウンウォッチング実施結果について

### 1. 基本構想策定のスケジュールの確認



### 2. 黄檗駅周辺のタウンウォッチング実施結果について

#### 実 施 概 要

**【目 的】** 地域内にあるバリアを抽出、課題を整理し、各施設を利用する高齢者、障害者等の意見を基本構想へ反映させることを目的とする。

**【実施日時】** 平成 28 年 5 月 21 日(土) 9:30～12:30

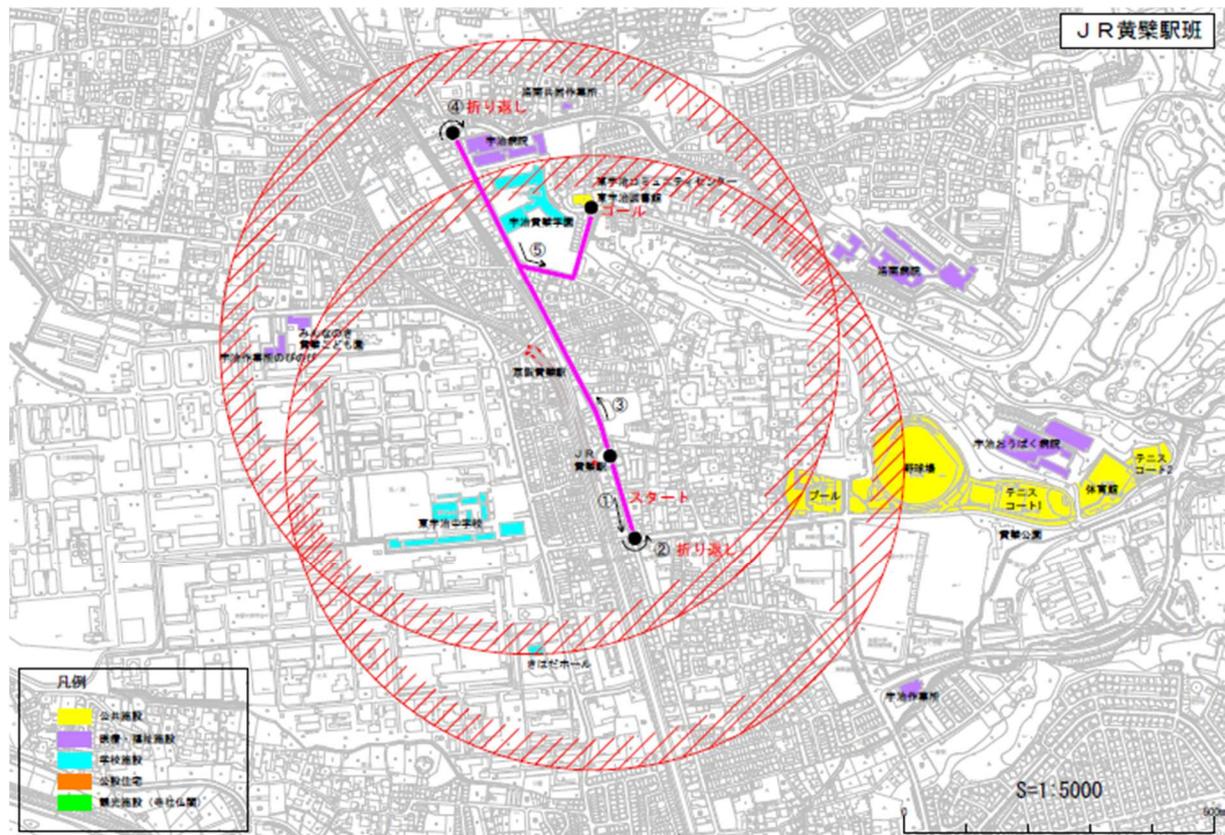
**【参加者】** 参加人数：45 人

(委員会委員、鉄道・道路等の施設管理者、障害者団体、地域住民、各施設利用者)

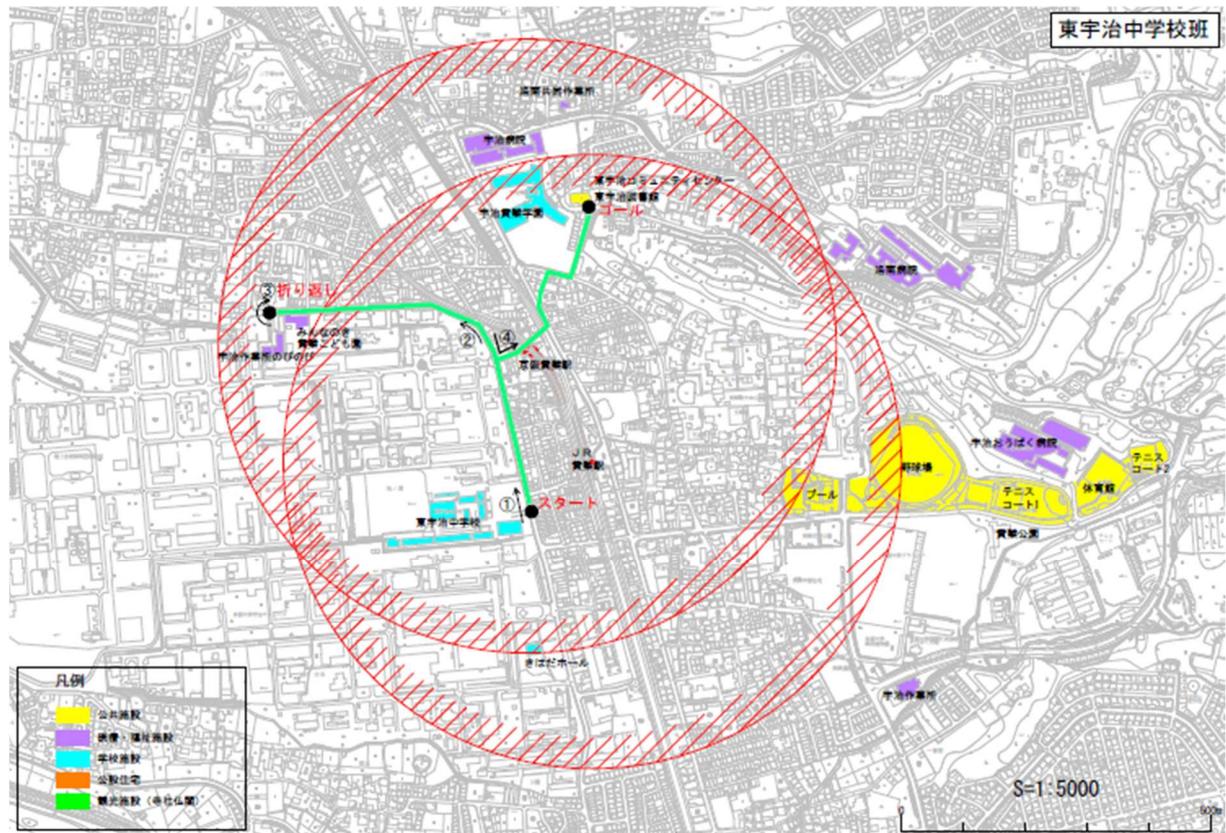
**【意見数】** 延べ 77 件

**【実施方法】** 参加者を 2 つの班に分け、地域内にあるバリアの点検を行った。

コース (紫線) : JR 黄檗駅 黄檗道踏切 宇治黄檗学園 東宇治コミュニティセンター



コース (青線)：東宇治中学校 宇治作業所 京阪黄檗駅 東宇治コミュニティセンター



**【課題抽出】**東宇治コミュニティセンターにおいて、点検したバリアについて抽出を行い各班で取りまとめた結果を発表し、情報（バリア箇所）の共有を行った。抽出した内容は下記のとおりです。



### （１）駅に関すること

#### < JR 黄檗駅 >

- ・車イスが通りやすいように駅正面の開口部、改札口の位置などを改善してほしい。
- ・駅のホーム幅が狭くて危険である。
- ・列車の通過がろうあ者にもわかるように、案内や注意喚起をしてほしい。
- ・駅構内の点字ブロックが劣化している。
- ・ホーム間の移動をしやすくするエレベーターが必要である。
- ・トイレ入口に段差がある、多目的トイレに鍵がかけられており、使いにくい。
- ・京阪黄檗駅との連絡の改善が必要である（連結ホームの設置など）。
- ・駅前の石製イスは、邪魔になり危ない。

#### < 京阪黄檗駅 >

- ・券売機に蹴り込みがなく使いにくい。点字案内の位置が悪く読みにくい。
- ・ホームが狭く、カーブがあるためホームと電車の間が生じ危険である。
- ・特に音が聞こえないろうあ者にとっては、カーブは見通しが利かず危険である。
- ・ホーム内の段差、階段の端（段鼻）がわかりにくい。
- ・トイレが片側のホームにしかなく使いにくい。

## ( 2 ) 道路や踏切に関すること

- ・ 黄檗道踏切の東側は狭く段差があり、車が通ると歩行者の逃げ場がなくなり危ない。
- ・ 歩道が狭すぎ、車イスはとても危険である。
- ・ 側溝のグレーチングは目が粗いところがあり、民地では蓋がないなど危険が多い。
- ・ 道路の幅員が区間によって変化するのは、安全に歩く上での不安要素となる。
- ・ 市道五ヶ庄 63 号線では、歩道内に段差や突起物などがあり歩きにくい。
- ・ 黄檗学園前の府道西側は、歩道がなく路側帯の幅も狭すぎる。
- ・ 黄檗門前踏切は狭く歩道がなく、歩行者は安心して通行できない。
- ・ 黄檗門前踏切の信号機の前にたまり空間がない。
- ・ 道路上の白線の表示が見えにくくなっているところがある。
- ・ 道路の路面がガタガタで、側溝に凹凸や傾斜があり、歩道の段差などもある。
- ・ 自衛隊のところは樹木が道路に出ており、歩きにくい。自衛隊ところの壁をもっと内側にしてもらいたい。
- ・ 歩道が狭いうえに、カーブミラー、信号柱、標識柱、電柱などがあり、歩きにくい。
- ・ 東宇治コミュニティセンターに至る坂道は、勾配がきつく、歩道がなく歩きにくい。

【取りまとめ】タウンウォッチングによって抽出された課題を取りまとめたものを図化



( )の数字はタウンウォッチングでの意見